

平成30年度 学校評価自己評価及び学校関係者評価（外部評価）表

東広島市立高美が丘中学校

教育目標	知・徳・体の調和がとれ、思いやりと行動力のある生徒の育成 「叡智のひかり」	評価 4・・・目標を上回って達成 3・・・ほぼ目標どおりに達成 2・・・目標をやや下回る 1・・・目標をかなり下回る
経営理念	<ミッション・ビジョン> 『学んでよかった、学ばせてよかった』と生徒・保護者から期待され、信頼される学校づくりの再構築を行い、グローバル化する社会を生き抜いていく生徒の育成を図る。	

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	評価		短期経営目標の達成状況
						7月	1月	
学習指導	1	○課題発見・課題解決学習の推進（グローバル化する社会に必要なとする力の習得） ☆本校生徒の「主体性」と「表現力」を育む。	自主学習の環境整備	・学校(図書室、オープンスペースの活用)と家庭学習の連動	・家庭学習時間1時間以上90%以上 ・宿題等提出物100%	3	3	12月のアンケートで「普段(月～金)家では1日あたり何時間くらい勉強していますか。」に対して1時間以上と答えた生徒は、1年生71.4%、2年生60.0%、3年生90.6%であった。宿題等提出物については、学年が上がるにつれてほぼ全員提出できてきている。また、提出できていない生徒も、取り組みの結果、遅れても提出している。
			生徒が意欲的に学ぶ姿勢を持つための授業改善と工夫	・校内研修(管理職、指導教諭等)による計画的な授業観察)による確かな学力定着のための授業改善及び工夫	・生徒授業肯定的評価90%以上 ・全国学力学習状況調査及びNRT市平均5ポイント以上	3	3	「全国学力・学習状況調査」(3年)、標準学力調査(NRT)とともに、市平均を上回った。
			図書室を利用した授業の実施	・教育センター等校外研修への教職員一人一講座受講	・課題発見・課題解決学習実施率100% ・教育センター等校外研修への受講率100%	3	3	教科によって多少はあるが、課題発見・課題解決学習をどの教科も実施している。試験範囲の授業にかかわって、定期試験問題にも、思考力・判断力・表現力を問う問題を入れている。
			図書室を利用した授業の実施	・学校図書の充実 ・読書の習慣づくり	・図書室を利用した授業の実施(年間50回以上)	3	3	学校図書館の活用状況を集計している。図書室の授業利用回数は、良好である。
生徒指導	2	○社会性を持ち協調性のある生徒の育成(寄り添いかかわりきる生徒指導の継続実践)	生活三訓の徹底	・校内環境整備や挨拶運動の実施等	・生活三訓にかかわる生徒意識調査90%以上	3	3	12月のアンケートでは「挨拶」の項目で1年生(98.5%)、2年生(95.9%)、3年生(97.8%)、「時間」の項目で1年生(100%)、2年生(98.0%)、3年生(93.9%)、「整理整頓」の項目で1年生(95.5%)、2年生(93.9%)、3年生(97.8%)となり目標値を達成している。
			校内環境美化の整備	・心を育てる緑化活動の推進	・生徒意識調査90%以上	3	3	12月のアンケートでは「緑化」の項目で1年生(92.4%)、2年生(89.8%)、3年生(88.9%)となっている。学校全体では目標値を達成(90.6%)しているが、緑化活動の少なくなる秋から冬場にかけての活動を再検討し、充実させていく必要がある。
			委員会活動・部活動の充実	・行事や大会を通じて生徒の自主性を育成	・生徒意識調査90%以上	3	3	12月のアンケートでは「係活動や委員会活動」の項目で1年生(98.5%)、2年生(98.0%)、3年生(97.8%)、「学校行事や大会」の項目で1年生(92.4%)、2年生(93.9%)、3年生(97.8%)、「部活動」の項目で1年生(95.5%)、2年生(95.9%)、3年生(97.8%)となり、目標値を達成している。
信頼される学校	3	○開かれた学校づくりの推進(小中連携と学校緑化活動の充実発展)	小中一貫接続教育の充実	・小中学校教員の積極的な情報交換 ・系統的な教育課程の実現に向けた連携	・小中連携合同研修会の年間2回以上実施	3	3	8月1日(水)に第1回小中合同研修会を実施した。また、1月24日(木)に高美が丘中学校において第2回小中合同研修会を実施した。「9年間を見通した道徳教育、生徒指導の在り方～育ちと学びの共有化を目指して」のテーマのもと、小中での情報共有やグループ別討議を行った。また、市教育委員会より田川指導主事による道徳教育の改善のポイント、岩田指導主事による生徒指導力向上についての研修を行うことができた。
			地域貢献活動の実施	・学習活動や緑化活動をはじめ、地域行事等を通じた交流活動の充実	・高美が丘中学校への進学率85%以上	3	2	小学校と連携したオープンスクール、地域センターと連携した菊づくり講座、住民自治協議会の協力で、生徒が育てたクッションマムを地域の施設にプレゼントする「フラワースマイルキャンペーン」、11月の学校へ行く週間では菊花展の地域公開、区民文化祭での音楽部の演奏、総合文化部のバンジープランター展示を実施した。また、来年度の小学生の進学率約64%となり、今年度と比較して-11%となった。
			地域貢献活動の実施	・地域連携行事への積極的参加	・学校周辺美化作業の実施(月20回以上) ・夏祭り協力(全校生徒1/3参加)	3	3	6月10日(日)に東広島市「きれいなまちづくりキャンペーン」に呼応した地域の環境整備活動を実施。また、校門周辺の美化活動は課業日のほぼ毎朝(月20回以上)実施している。夏祭りは今年度は中止であった。また、住民自治協議会の協力で、12月27日に門松づくりを行い、校門前と地域センター玄関に設置した。また、「インターネット・スマートフォン安全教室」のテーマで、生徒・保護者・地域住民計170名の参加者を集めた教育講演会を実施した。

改善の方向性

	学校関係者評価（外部評価）
〈学習指導〉	○主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善と工夫 ○各種検定への受検 ○学力補充学習の充実と学習習慣づくりの支援 ○図書環境の充実と読書活動の充実
〈生徒指導〉	○いじめアンケートの計画的実施等による未然防止 ○生徒委員会等の取組を通じた「生活三訓」の日常実践 ○不登校生徒の状況把握、情報共有、保護者連携及び関係機関等との連携・充実 ○生徒へ寄り添い、かかわりきる指導の徹底 ○生徒指導の三機能を活かした授業スタイルの確立
〈信頼される学校〉	○「学校関係緑化活動」を通じた保護者、地域との連携のさらなる充実 ○学校だよりの配布及びHPの更新 ○積極的に地域行事への参加 ○小学校と連携した挨拶運動、授業交流、合同研修会など積極的な交流活動の実施
	学校関係者評価（外部評価） ・1小学校1中学校というこの地域のメリットを生かせるよう協力をさせてもらっている。最近子どもたちが楽しそうに挨拶してくれる。今後も先生と地域が腹を割って話せる環境をつくりたい。 ・小学校で児童が挨拶をする割合が55%と報告があったが、実際にはもっと高いのではないかと感じる。高美小から高美中への進学率が64%は低いのではないかと感じる。小学校で高美中への進学をもっとアピールすべきだと思う。 ・小中学校の関係が近いと感じる。双方でよく連携が取れている。安心して中学へ進学させることができる。また学校の取組が地域に根付いている。 ・校内での生徒が和気あいあいの雰囲気のように感じた。 ・コミュニティスクールへの準備を進めていかなければならない時期になっているのではないかと感じる。 ・いじめ、不登校に関して保護者の関心がどれだけあるのか心配である。教育講演会などへの参加を呼びかける努力をさらにしてほしい。 ・小学校から中学校へ進学して、9年間を通していじめ等が無いよう今後も人間関係等を気を付けて見てもらいたい。 ・ここ最近生徒が落ち着いている。教職員定数確保の問題が騒がれているが、現状はどうか。病休等が出ないよう管理職の目配りを今後もお願いしたい。 ・小中連携や学校での取組を高く評価したい。今年は小中学校共に文部科学大臣賞を受賞した。このような地域は他にない。また、学校と地域のつながりについても成果が出ている。今後もさらにこの取組が地域づくりにつながっていければと思う。